

米子工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	基礎英語演習Ⅲ	
科目基礎情報						
科目番号	0041		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	Vision Quest English Grammar 24 (啓林館)、English Grammar 24 Workbook (啓林館)					
担当教員	森田 典幸, 赤山 幸太郎					
到達目標						
1) 学んだ単語、フレーズを覚え、文法のルールを再確認して問題演習などに生かせる。 2) 学んだ単語、フレーズ、文法の知識を生かして、英語を読んだり聞いたりできる。 3) 学んだ単語、フレーズ、文法の知識を使って、英語を書いたり話したりできる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
	問題演習で8割以上正答できる。	問題演習で6割以上正答できる。	問題演習で6割以下しか正答できない。			
	英文の内容が8割以上理解できる。	英文の内容が6割以上理解できる。	英文の内容が6割以下しか理解できない。			
	学んだ単語、フレーズ、文法を8割以上正しく使える。	学んだ単語、フレーズ、文法を6割以上正しく使える。	学んだ単語、フレーズ、文法を正しく使える割合が6割以下である。			
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 E						
教育方法等						
概要	社会とかかわるためのコミュニケーション能力を養う科目である。中学校で習得した語彙・文法を基礎にして、さらに英語の理解と表現の幅を広げるための文法事項を学習する。「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく伸ばす基盤となる文法力を身につける。					
授業の進め方・方法	主にテキストを使いながら授業を進める。毎授業新しい文法事項を学ぶため、その日のうちに復習をし、学習内容を定着させること。復習用の問題集(ワークブック)があるのでそれを宿題として解き、定期試験前に提出すること。					
注意点	授業に関する質問は適宜受けつける。授業への積極的な取組を期待する。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週	ガイダンス/ 関係詞 3	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		2週	Plus 8 関係詞	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		3週	比較 1	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		4週	比較 2	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		5週	Plus 9 比較	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		6週	仮定法 1	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。		

4thQ	7週	仮定法 2	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	8週	後期中間試験	後期中間試験までの内容を復習する。
	9週	Plus 10 仮定法	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	10週	否定 1	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	11週	否定 2	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	12週	無生物主語・名詞構文	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	13週	話法 1	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	14週	話法 2	習った単語、フレーズ、文法知識を使って、演習問題が解ける。
	15週	後期末（学年末）試験	後期末（学年末）試験までの内容を理解する。
	16週	後期末（学年末）試験の答案返却と解説	後期末（学年末）試験までの内容を復習する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
		実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		

評価割合

	試験	提出課題		態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0